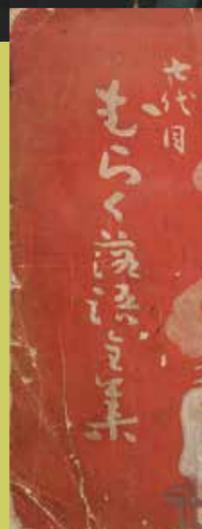


【各巻タイトルと収録演目】

- ① 禽語楼小さん落語全集 (大正4年1月刊)  
「ちきり伊勢屋」「反魂香」「千両富」「三人旅」「化物娘」「酒の癖」「小夜千鳥」「廓大学」
- ② 初代三遊亭円遊落語集 (明治44年1月刊)  
「初夢」「果報の遊客」「地獄旅行」「樟脳玉」「素人洋食」「梅見の葉罐」「夢の後家」「鼻毛」「穴蔵の泥棒」「お釣りの情夫」「水中の球」「臍咬り」「道具の開業」
- ③ 四代目橋家円喬落語集 (明治43年9月刊)  
「素人茶番」「素人芝居」「一ツ穴」「美人局」「附馬の附馬」「牛褒め」「情死の情死」「百人坊主」「三枚起誓」「三十石宝の入船」
- ④ 初代柳家小せん落語全集 (大正4年5月刊)  
「支那の野晒」「居残り佐平治」「菟菟問答」「真田小僧」「初音の鼓」「廓大学」「和歌三神」「お七」「早桶や」「巖流島」「錦の袈裟」「代脈」「道灌」「寝床」「三人旅」「明烏」「法華長屋」「片棒」「小言幸兵衛」「鰻屋の幫間」「五人廻し」
- ⑤ 二代目三遊亭小円朝落語全集 (大正5年1月刊)  
「きめんさん」「三軒長屋」「白井の夢」「田能久」「奴勝山」(二席)「女の子別れ」「煙草の競争」「中村秀鶴」「千両蜜柑」「松竹梅」「猫忠」「天災」「雛鏝」「芸妓の奇遇」「写真の指切」「星野屋」「比翼塚」「巢鴨の狐」「狸の遊び」
- ⑥ 二代目三遊亭円遊落語全集 (大正元年11月刊)  
「世辞無世辞」「桜風呂」「延辰」「妾の手切」「遺言」「花見小僧」「桑名船」「法華信者」「女仙人」「追焚」「三村次郎右衛門」「粗忽の幫間」「飛行機」「猫芝居」「明烏」「お見立」「駒長」「妾の頓智」「雷獣鍋」「野ざらし」「三ツ紋の独楽」「大仏の眼」「地獄廻り」
- ⑦ 二代目三遊亭金馬落語全集 (昭和4年7月刊)  
「芝浜の皮財布」「文違ひ」「笑ひ茸」「忠孝」「花見酒」「三人書生」「死神」「女の心」「猫退治」「探偵うどん」「おもと違ひ」「蕎麦の羽織」「箱丁の提灯」「新聞見合」「臆病源兵衛」「たちきり」「太刀の鏝」「縁の下の犬」「自動車の布団」「凝相撲」「口上茶番」「金馬身の上噺」
- ⑧ 三代目柳家小さん落語集 (大正13年5月改版刊)  
「茗荷屋」「富久」「てんしき」「位牌屋」「橋場の雪」「雛鏝」「禁酒の番屋」「武助馬」「閉込み」「皺め」「真田小僧」「無筆」「出来心」「臆病源兵衛」「二人癖」「しの字嫌ひ」「神酒徳利」「相撲の蚊帳」「いもりの間違ひ」
- ⑨ 円窓落語全集(五代目三遊亭円生) (大正7年1月刊)  
「渡米珍談」「狂歌家主」「衛生料理」「高田の馬場」「たぬき」「きしゅう」「幽霊のお女郎買」「子ほめ」「締込み」「二番煎じ」「弥次郎」「八笑人」「文七元結」
- ⑩ むらく落語全集(三代目三遊亭円馬) (大正2年4月刊)  
「官営酒場」「故郷へ錦」「鰻ヶ沢」「後家馬子」「大男の毛」「新作黄金」「山崎屋の下」「名人昆寛」「御洗足」「貸雪隠」「嘘」「百年目」「雁捕」「泣しほ」「播州巡り」「佐々木高綱」「夢」「長袖」「万病円」「半分は垢」「茶金」「むらく興行笑話」
- ⑪ さん馬落語全集(八代目桂文治) (大正8年3月刊)  
「夢屋」「一ツ穴」「洒落小町」「おもと違ひ」「京見物(上)」「京見物(下)」「将棋の殿様」「館林」「女天下」「唐茶屋」「本堂建立」「臆病源兵衛」
- ⑫ 二代目三遊亭遊三落語全集 (大正4年1月刊)  
「三味線栗毛」「狸寝入り」「夢の瀬川」「はね頭」「強慾は無慾」「妙な大根売」「鶴満寺」「而して後」「源平穴探し」「ピーヤホール」「品川心中」「臍の下」「菟菟問答」「猫の下駄」「夢の意見」「今晚」「厩火事」「裏の裏」「遊三身の上噺」



よみがえる明治大正期の名人芸

三芳屋落語速記本復刻  
明治大正落語名人選集

岡田則夫編  
四六判・全十二冊(分売不可)  
セット定価(本体150,000円+税)  
ISBN978-4-8169-2734-8  
2018年7月刊行

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局 TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 http://www.nichigai.co.jp/

■貴店名	三芳屋落語速記本復刻 明治大正落語名人選集 セット定価(本体150,000円+税) ISBN978-4-8169-2734-8	セット
	■お名前	
TEL. ( )	FAX. ( )	

日外アソシエーツ

# 明治大正期に庶民の娯楽本として人気を博した落語速記本を復刻!

- ◎明治大正期に手軽な娯楽本として人気を博した落語速記本の復刻集です。当時の名人芸を文字で記録した、個人全集となっています。
- ◎各巻に落語家と演目に関する解説付き。

## 落語速記本とは、その意義とは

### ●現代の落語への影響

今の噺家の少し前の世代(先代三遊亭円楽、立川談志、古今亭志ん朝)の師匠(三遊亭円生、柳家小さん、古今亭志ん生)たちに影響を与えた、「名人」たちの個人全集です。現在の噺のスタイルはこの頃の落語に源流があると言われています。本書によって、そういった名人芸を目の当たりにすることができます。

### ●庶民の娯楽

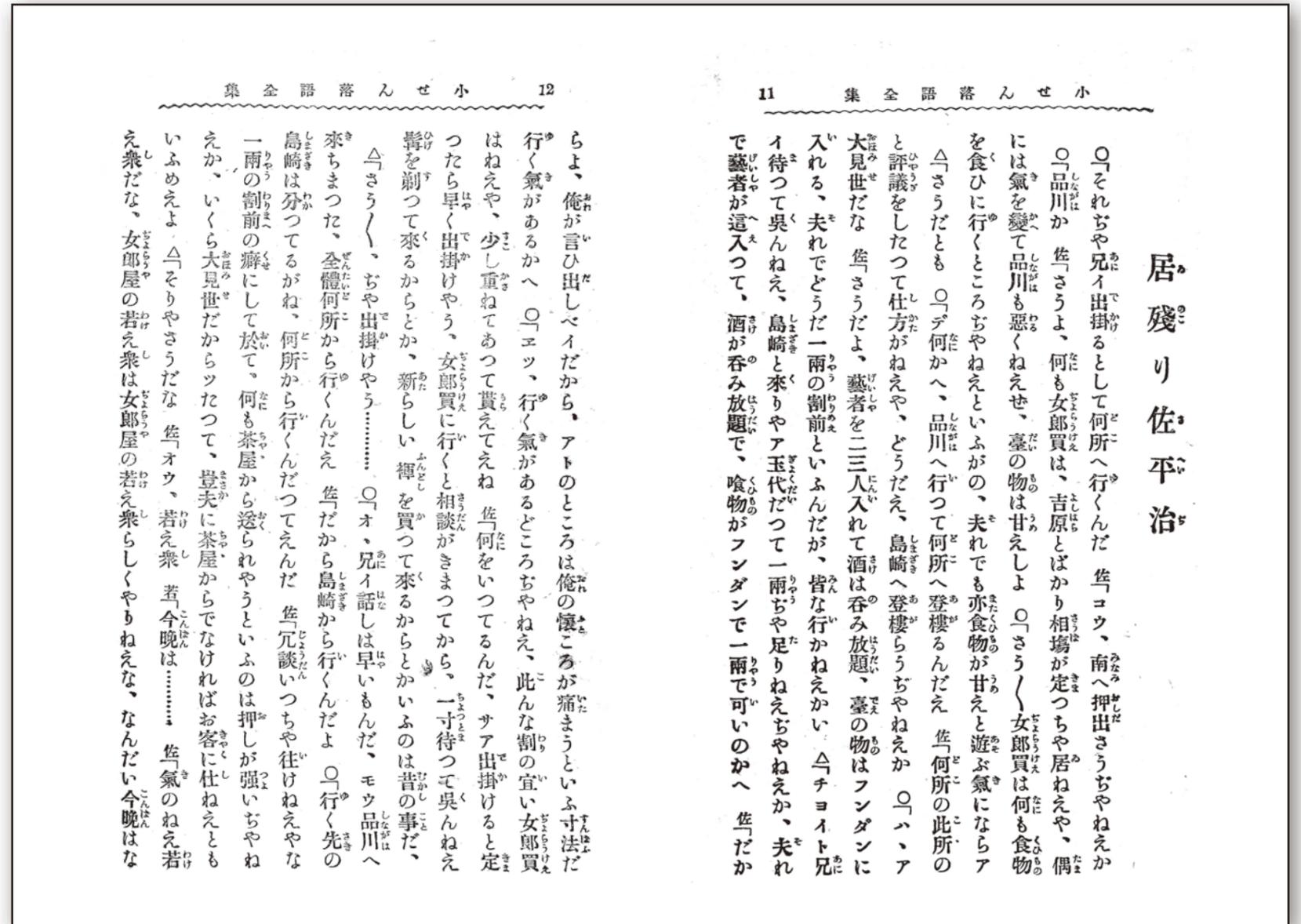
落語速記本は大衆娯楽誌として庶民に楽しまれていました。寄席に行かれないような地方の人たちに歓迎されていたと想像されています。ただ、読み捨てられる雑誌でしたので、残っているものが少なく、そのため希少価値が高くなりました。

### ●文学への影響

三遊亭円朝の速記本が二葉亭四迷などに影響を与えたのは有名な話です。本シリーズに収録している三代目柳家小さんに対して、夏目漱石は『三四郎』の中で「小さんは天才である。あんな芸術家は滅多に出るものぢやない」と述べています。

### ●日本語研究資料として

明治から昭和初期の庶民が、どのような日本語を話していたのかをうかがうことができます。また、落語独特の当て字、読みも風情があります。



『④初代柳家小せん落語全集』より

## 三芳屋本について

落語の速記本をたくさん出したのは三芳屋である。明治40年から昭和戦前まで100冊以上の落語速記本を出版している。いわゆる三芳屋本と呼ばれているもので、円喬、円蔵、円遊、円歌、円左、小円朝、円窓、つばめ、むらく、左楽、小さん、小せん、さん馬、りう馬らの個人全集は、編集も良心的で速記も信頼できる。三芳屋本は大変よく売れたようで、「廓ばなし小せん十八番」は大正8年9月23日に初版が出ているが、昭和3年12月15日には17版と版を重ねている。また、この当時の速記本には、もともとは美しいカバーが付いているものがほとんどであるが、発行当時のカバー付き本が発見されるのは極めて稀である。

岡田則夫編『落語研究資料解題 明治～平成一速記本・SPレコードデータ付き』(日外アソシエーツ、2016)より

### 【編者紹介】 岡田 則夫 (おかだ・のりお)

1946年、東京都文京区生まれ。大衆芸能研究家・SPレコード収集家。演芸評論家小島貞二氏に師事。日本大学文理学部卒業。研秀出版を経て学習研究社定年退職。全国を歩いて収集したSP盤や演芸資料のコレクションは噺家や研究者から第一級の資料として高い評価を得ている。

主著に『近代庶民生活誌第8巻(遊戯・娯楽)』(三一書房)、『大正期SP盤レコード芸能・歌詞・ことば全記録』(大空社)、『SPレコード蒐集奇談』(ミュージック・マガジン社)、『デジタル復刻版百花園』(日外アソシエーツ)、『落語研究資料解題 明治～平成一速記本・SPレコードデータ付き』(日外アソシエーツ)など。CD監修・解説に『日本吹き込み事始』(東芝)、『昭和戦前面白落語全集』(日本音声保存)、『昭和の爆笑王』『昭和こっけい落語集』『決定盤初代桂春団治落語傑作集』(日本コロムビア)、『街角の歌書生節の世界』(大道楽レコード)など。